こどもの城ニュース

KODOMO NO SIRO NEWS

2003・12・15 NO.145 発行／〔こどもの城〕広報部☎03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1

歓(かん)さつしよう!

春のサクラの時季に家の明かりなどに飛んでくるガで、独特のもようを持っています。名前はイボタガ。夏には土の中でサナギの姿に変わり、冬を越します。

生き物は自分の身を守るために、それぞれの方法を持っています。とくに、小さな生き物は、このような“顔もよう”になって、敵をおどかす仲間がいます。人間も生き物です。身を守る方法はなんでしょう。それは、ほかの生き物が持っていない“知恵（ちえ）”です。（横浜・こどもの国）

ヤマムラアニメーション
～こどもずかん＋アートライブラリー～

12月13日～平成16年1月12日
〔こどもの城〕ギャラリーほか

「ヤマムラアニメーション～こどもずかん＋アートライブラリー～」が、12月13日から平成16年1月12日まで〔こどもの城〕ギャラリーほかで開催されています。『頭山』がアカデミー賞短編アニメ部門にノミネートされて話題を集めた、アニメーション作家の山村浩二さんの世界を、撮影に使った動画、人形、セット（舞台装置）などをとおして紹介するプログラムです。参加・体験型の展示も数多くあるので、アニメーション（作り）の秘密を知ることもできます。また、アニメーションの一場面を、アイデア段階のスケッチや撮影に使った原画や人形・セットなどでじっくりと見ることができるので、“造形的な作品”として楽しむことができます。

立体の〈ゾートロープ〉と山村浩二さん

“動き”の秘密にせまる

《アニメーション広場》は、動かないもの（絵や人形）が動いてみえる不思議を体験する広場です。〈キノーラ〉〈ヘリオシネグラフ〉〈ゾートロープ〉など、映画が発明される前に作られた、動きを楽しむおもちゃ（視覚玩具）で、“動き”の秘密にせまります。絵や人形は山村さんのデザイン。

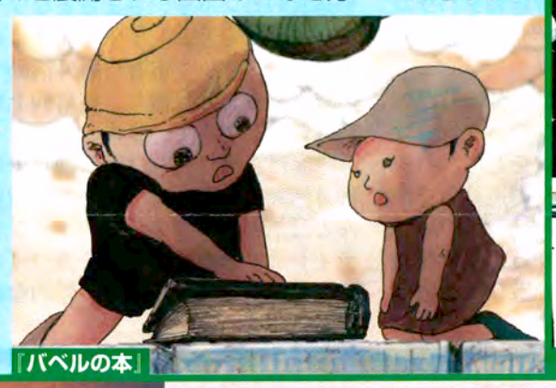
〈キノーラ〉

〈キノーラ〉は、ハンドルを回すと絵がぱらぱらと自動的にめくれて、絵が動いてみえるおもちゃ。〈ヘリオシネグラフ〉と〈ゾートロープ〉は、細いスリット（すきま）からのぞくと、絵や人形が動いて見えるおもちゃ。映画の仕組みの原型となったものです。ゾートロープは、ふつう絵を見ることが多いのですが、今回は大型のものを作り、人形が動いて見えるようにしてあります。

あふれるイメージ　大パレード!!

山村さんは、作品のアイデア・ストーリー、登場するキャラクターを考える、絵（背景画や動画）を描く、粘土などでキャラクターを作って“動かす”――大切な部分は全部自分一人で長い時間をかけて、こつこつとアニメーション作りをしています。キャラクターの表情や動き、画面作り、次々と展開される画面のつなぎ方――できあがった作品の一つひとつの場面に山村さんの“思い”が込められています。

「ヤマムラアニメーション～こどもずかん」の主会場はアトリウムギャラリー。代表作の一つ『バベルの本』のイメージを生かして、山村さんのアニメーション作りの秘密がいっぱいつまった“塔”になっています。たくさんの展示のなかから、いくつかのコーナーを紹介します。


『バベルの本』

《図鑑の廊下》

アニメ作りで大切な“光の演出”体験

《キップリングジオラマトンネル》は、『キップリングJr.』で使われた電車や街角のセットを使って“光の演出”を楽しむコーナー。ライトをあてる角度、色などを変えると、朝の風景になったり、夜の風景になったりします。このコーナーも、その場で見たものとビデオをとおして見たものを比べてみることができます。

暮らしのなかでは、明るい、暗い――としか考えていない光ですが、アニメーションなどを作るときには、とても大切な要素。少しの変化が、できあがった作品に大きく影響するからです。

このほか、作品作りに使われたさまざまな素材などの実物を収めた**《図鑑の廊下》**もあり、山村さんのアニメーション作りのすべてを知ることができます。

夕方

昼間

《キップリングジオラマトンネル》
“光の演出”でがらっと変わります

《クロマキー劇場》
キャラクターがいる画面のなかに

アイデアを“かたち”に

アニメーション作りは、頭の中に浮かんだアイデアを絵や人形などの“かたち”にしていきます。登場するキャラクターを考えても、その形、大きさ、服装などが少し異なるだけで印象が違ってきます。『バベルの本』のためのスケッチをのせた**《原画バス》**など、山村さんのイメージ世界を楽しみながら、自分自身のイメージ世界を広げていきます。

《山村さんのアトリエ》＝数々の作品を生み出した場所を、写真を立体的に組み合わせて再現しました。アイデアを練ったり、スケッチをしたり、背景動画を描いたりする場所。ここから、さまざまな作品が産声をあげました。

《クロマキー劇場》＝クロマキーというのは、画像を合成する技術のことで、カメラの前に立てば、アニメーションのキャラクターたちがいる画面の中に入り込むことができます。着ているものの種類や色の違い、ぼうしをかぶってみるだけでも印象が変わります。ちょっとしたことが、キャラクターの性格を作っていきます。

《頭山》＝アカデミー賞にノミネートされ、世界的に権威のあるアヌシー国際アニメーション映画祭でグランプリに選ばれた『頭山』のクライマックスを立体的に再現。映像トリックを体験できます。

《水棲（すいせい）》＝すりガラスの上に粘土をうすく延ばして絵を描き、下からライトをあてて撮影するという珍しい方法で作った作品です。上からライトをあてたとき、下からライトをあてたとき、実物を見たとき、ビデオをとおして見たとき――同じものがいろいろな見え方をします。

「アートライブラリー」で資料展示

12月20日～平成16年1月12日

フリーホールの**「ヤマムラアニメーション～アートライブラリー～」**では、アニメーションのもととなったイメージスケッチ、キャラクター設定、絵コンテ、セル画、人形などのほか、イラストレーターでもある山村さんの作品（イラストレーション、絵本の原画）などが展示されています。作品ごとにまとめられて、大型絵本のようにページをめくりながら読み進むことができます。

「アートライブラリー」

もう一つのアニメーション

アニメーションというと、テレビで放送されているものを思い浮かべます。その多くは、“セル”という透明なシートにキャラクターを描き、背景の絵に重ねて撮影する方法（セルアニメ）で作られています。最近は、コンピュータで“セルアニメ”のような絵を描く方法が多くなっています。ストーリーを考える人、キャラクターをデザインする人、背景を描く人、セルに絵を描く人――というように役割分担をして、あらかじめ決められた動きや設定にもとづいて作っています。

題材は、まんがやビデオゲームをもとにしたものがほとんどで、海外で“ジャパニメーション（ジャパン＋アニメーション）”とよばれているように、共通する特徴を持った、アニメーションのなかの一つのジャンルとして見られています。

山村さんの作品は“ジャパニメーション”とは違って、動くはずがない絵や人形などのものを、山村さんの感覚で動かすという、本来のアニメーションの楽しさ、おもしろさにあふれています。テレビなどでは見る機会が少ないために知らなかった、“もう一つのアニメーション”の世界と出会うことができます。

人と地球のハーモニーを奏でたい。

人と自然が調和する持続可能な社会の実現をめざして。富士通はIT企業としての先進テクノロジーと、地球環境の未来を考える創造力を原点として、製品からソリューション、マネジメントまで、あらゆる領域にわたる環境活動の挑戦を続けています。

すべてをグリーンに。

FUJITSU

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

2003-2004〔こどもの城〕の冬休み特別期間

12月23日～1月7日 開館時間 10:00～5:30（1月3日は12:30～5:30）
※12月29日～1月2日と8・9日は休館

冬休み特別期間の〔こどもの城〕には、ウキウキ元気に遊べるプログラムがいっぱい。家族や友だちと一緒に、いろいろな遊びにチャレンジ!!　主なプログラムは以下のとおり。詳しくは、総合案内係【☎03-3797-5666】にお問い合わせください。
http://www.kodomono-shiro.or.jp/

□ヤマムラアニメーション　こどもずかん～**あふれるイメージ制作中！～**（開催中。1月7日まで／造形スタジオ）

□新！みんなのからだは芸術品!! **ちからは遊びのパートナー**（期間中毎日／体育室）

□**パソコン紙相撲**（期間中毎日／パソコンルーム）

□**いろはにほへとでお正月～かるたみつけてあそびましょ～**（1月3～7日／プレイホールほか）

□**歓々喜々音楽会**（ファンファンシーシーインユエホイ）！（1月3～7日／音楽ロビー）

□自分でつくってよくあがる　**えい凧づくりのワークショップ**（1月3～7日／Bスタジオ）

「わいわいスタジオ～クリスマスコンサート　アイルランドの音楽」（12月21日／Bスタジオ）、「同～おはなしおんがくパンパカパ～ン　クリスマスのおくりもの」（23日／Bスタジオ）、「サンタカーニバル」（24・25日／音楽ロビー）など、クリスマスプログラムもいっぱい。

4つの班に分かれて「デジタル紙芝居」を共同制作しました。

「福井県児童科学館エンゼルランドふくい」のみなさんの公演

こどもの城となかまたち

〔こどもの城〕の青年と女性ボランティアのグループが合同で公演とワークショップを行う「あそびのおもちゃ箱」が11月22～24日にフリーホールで行われました。今回は、福井県児童科学館エンゼルランドふくい、ぐんまこどもの国児童会館、神戸市総合児童センターこべっこランドのボランティアグループも公演に参加。また、栃木県子ども総合科学館のボランティアも、公演・ワークショップの準備・運営を手伝ってくれました。

各地の大型児童館のボランティアも参加して「あそびのおもちゃ箱」開く

「ぐんまこどもの国児童会館」のみなさんの公演

「神戸市総合児童センターこべっこランド」のみなさんの公演

こどもの城児童厚生員等実技指導講習会

みんなで楽しめる“パソコン遊び”やグループで取り組む“パソコン遊び”紹介

平成15年度こどもの城児童厚生員等実技指導講習会パソコン編（第2回）が、11月19・20日の2日間にわたって、〔こどもの城〕パソコンルームで開かれました。全国各地から20人が参加。

今回の講習会は、仲間遊びへ結びつけることができるパソコン遊びがテーマ。1対1でモニター画面と向かい合う“個人の遊び”から、みんなで楽しめる遊びやグループで共同制作を楽しむ遊びへと展開していくヒントを、〔こどもの城〕で実際に行っているプログラムを例に紹介。

「木の葉のぬりえ」は、コンピュータでブナやカエデの葉っぱの図形に色やもようをつけ、それをプリントアウト。壁に作った大きな木にはりつけ、葉が生い茂った大きな木を完成させるプログラム。大きな木にそれぞれが作った葉っぱをはりつけることで、子ども同士のつながりへの発展が期待できます。

木の葉のほかに、海の生き物をデザインして“海の世界”や、建築物をペーパークラフトで作って「ジオラ街っく」のように応用していくことができます。飾られている作品例をみながら、木の葉や建物をパソコンで色付けしたり、デザインしてみました。

続いて紹介したのは、仲間遊びの要素をより多くしたプログラム。コンピュータでデザインをして、ペーパークラフトで“遊びの道具”を作る「ペーパープレーンファクトリー」「パソコン紙相撲」。作った紙飛行機や紙相撲力士を使った遊びへと広げていくことができます。

いずれも、市販されているグラフィックスのソフトを使ったプログラム。下絵、組み合わせて使えるように考慮した部品のデータを用意しておけば、だれもがパソコン遊びのおもしろさを体験できます。2日目の最後には、子どもたちにパソコン遊びを提供するための準備の仕方も練習しました。

このほかに、グループで共同制作を楽しむ「デジタル紙芝居（スライドショー）」を4つの班に分かれて実際に作成しました。1日目の最後に班分けが行われ、どのようなものを作るかのミーティング。2日目の朝に、それぞれの意見を集約して構成を決定。グラフィックスソフトを使って絵を描く班、デジタルカメラを手にして撮影にでかける班――さっそく手分けして制作に取りかかりました。

画面が完成したら、BGMや効果音、ナレーションなどの音声をつけます。やり直しができるので、1画面ごとに再生してできばえを確認しながらみんなで作品作り。うまく音入れができると、マイクの前でしゃべった人も回りの人も全員がホッとした表情。参加者の地元の“お国自慢”、写真クイズ、方言を生かしたおはなしなど、グループのメンバー全員が力を合わせた楽しい作品ができあがりました。

次回は1月21～23日に「児童館とキャンプ活動」

平成15年度第3回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会が、平成16年1月21～23日に開かれます。テーマは「児童館とキャンプ活動～リーダー研修のチェックポイント」。児童館などで野外活動をするときに協力をあおぐ、学生や地域のボランティアのトレーニングに焦点をあてました。効果的な研修プログラムの企画や運営のヒントを、さまざまなワークショップをとおして学びます。あわせて、スタッフ自身の野外活動への取り組み方の見直し、技術向上を図れればと考えています。

講師は、横浜市三ツ沢公園青少年野外活動センター指導員の森山明さんと日本キャンプ協会公認キャンプディレクター1級の資格を持つ〔こどもの城〕職員。野外で実際的な講習を行います。

主なプログラム（予定）は「キャンプカウンセリングを伝える」（リーダーとして大切にしたいこと～自分を知る、他人を知る～／こんな時どうする？～子どもへのアプローチ～）、「プログラム運営法を伝える」（野外炊事指導の実際／ゲームハイキング設営法／つどいの運営法）など。

開催要領は下記のとおり。お問い合わせ・お申し込みは、企画研修部【☎03-3797-5675】へ。

□日時＝平成16年1月21～23日
□会場＝足柄ふれあいの村（宿舎泊）
※〔こどもの城〕に集合後バス移動
□対象＝児童厚生施設などに勤務する児童厚生員等の指導職員および企画担当職員
□定員＝50人（先着順）
□参加費＝25,000円（宿泊・食費9,000円／研修費16,000円）
□申し込み方法＝12月17日11時から、先着順に電話で受け付け（1回線4人まで）

12月から「ばぶりんパラダイス」スタート

親子（0～1歳児）でゆったり音具で遊べます

0～1歳の乳幼児を連れた親子が、音のでるおもちゃ（音具）でゆったりとしたひとときを過ごすことができる「ばぶりんパラダイス」が12月からスタート。祝日や特別期間を除く、平日（火～金曜日。開館時間中）に音楽ロビーにオープンします。

乳幼児を連れた家族に、安心して遊べる場として好評を得ていた「ゆったり親子のおんがく園」が、夏休みや冬休みなどの特別期間だけでなく、平常期間にも開設してほしいというリクエストにこたえて、平日に開設されるようになったものです。音楽ロビーの音楽遊びのプログラムとあわせて、乳幼児向けの「ばぶりんパラダイス」をご利用ください。

音のでるおもちゃ（音具）に囲まれて「ばぶりんパラダイス」

「親子のほっとタイム」2月コース参加者募集中

専門のスタッフ（保健師・看護師・管理栄養士・臨床心理士）を囲んで、少人数で子育ての心配事や悩みを考える「親子のほっとタイム」2月コースの参加者を募集しています。

対象は、3～10か月の赤ちゃんと保護者10組。赤ちゃんの健康管理、栄養（母乳・ミルク・離乳食など）、心とからだの発達についてをテーマにした3回シリーズ。2月5・19日・3月4日（午後1時30分～2時30分）。参加費5,000円。お申し込み・お問い合わせは小児保健部【☎03-3797-5667】へ。

ファミリーアドベンチャー第3弾

木場公園へ“春をさがしに”

2月12日から先着順に受け付け

台風のために延期されていた、ファミリーアドベンチャー「無人島！猿島を探れ!!」が、13家族が参加して11月9日に行われました（写真）。小さくても変化に富んだ猿島めぐりを楽しみました。

ファミリーアドベンチャー第3弾は、平成16年3月14日に「ミクロアドベンチャー～春をさがしに……～」。都立木場公園で、自然とふれあう“ネイチャーゲーム”にチャレンジします。2月12日正午から、電話で先着順に申し込みを受け付けます（1回線につき1家族）。

■日時＝平成16年3月14日午前10時30分、木場公園内噴水広場前に集合（交通費は各自負担）。
■対象＝参加当日4歳以上の子どもとその家族（父母、祖父母）15家族。
■参加費＝大人1,000円、子ども500円（プログラム費など）。
■お問い合わせ・お申し込み＝体育事業部【☎03-3797-5660】へ。

土曜日の小・中学生向けプログラム（1～3月の予定）

■ビッグサタデー■（小4～）
10時30分～11時45分／体育室
スポーツにチャレンジ！　1～3月はバスケットボールを取り上げます。

■高学年楽器体験コーナー■（小4～）
10時30分～11時、1時30分～2時、2時30分～3時／音楽ロビー
スタッフの指導で、あこがれの楽器を手にして演奏してみます。

■造形実験室■（小4～）
開館時間中／造形スタジオ
「布と造形」がテーマ。日曜日・祝日にも開催。1月は17日から。

■サタデー・ラボラトリー■（小1～）
1～4時／フリーホールほか
1月17日＝あったかいぞ!!　カイロを作ろう
24日＝“火”を考える
31日＝クイズ答えて100問ラリー
2月　7日＝混虫（まぜむし）工場スペシャル

※都合により、プログラムが変更されることもあります。アトリム総合案内係【☎03-3797-5666】でお確かめください。

今年も1年間「こどもの城ニュース」をご愛読いただき、ありがとうございました。次号は、2月15日号（1月15日号は休刊）になります。今後ともよりよい紙面作りをめざして行きたいと思います。　編集担当

第16回　こどもの城・キリン・ファミリーオペレッタ

とびこむ絵本 第Ⅲ弾「クルクルミチルの青い鳥」

青山円形劇場新春公演　1月2～7日

新年の青山円形劇場は、恒例となった「こどもの城・キリン・ファミリーオペレッタ」で幕を開けます。夢見ることのすばらしさ、愛することの大切さを知って、豊かな心を育ててもらおうという願いを込めて作品作りをしています。ステージと客席が一体となって歌ったり、ステージに参加したり、家族で楽しめる作品です。主催は、こどもの城／キリン福祉財団。

今回は、絵本の読み聞かせを共通のテーマにして親と子のコミュニケーションの大切さを考える「とびこむ絵本」シリーズの第Ⅲ弾「クルクルミチルの青い鳥」です。

小さな家庭図書館「よりみち文庫」で絵本の読み聞かせをしているクルクルのところに、またまた「ぷっかりタウン物語」という絵本が落ちてきました。雲の上の街“ぷっかりタウン”に住む天使たちは絵本が大好きですが、その街には絵本がないので、絵本を読んで欲しいときには、クルクルのところにこの本を落とすのです。どんな絵本を持っていこうかしら……、しあわせをさがすおはなしにしよう。さっそく“不思議なベル”を鳴らして、絵本「ぷっかりタウン物語」に飛び込み、天使たちの住む街へ……。

公演日時は、1月2～7日（午前11時と午後2時30分。2日は午後の部のみ）。料金は2,800円（自由席・定員制。3歳以上均一料金）。

お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部【☎03-3797-5678】へ。

施設見学 10月15日～11月14日

□11月13日＝愛知県北設楽郡津具村立津具中学校2年生4人。「生き方を学ぶこと」をめざした国内研修。保育士をめざしている4人が、保育活動を中心に見学。

1・2月のBスタジオの催し

■1月11・12日　こどもの城映画劇場　「カナダのアニメーション」
11時35分、1時35分、2時35分、3時35分
世界的に高い評価を得ているカナダのアニメーションを上映します。
☆上映作品＝『ビーズ・ゲーム』（5分35秒／Ishu Patel監督）、『三角形のダンス』（4分56秒／Rene Jodoin監督）、『砂の城』（13分12秒／Co Hoedeman監督）

■1月18日　手作り楽器のワークショップ「フィルムケースの笛」
1時30分、3時30分
フィルムケースを使って2種類の“鳥笛”を作ります。小学生1年生以上。定員30人。15分前から会場で受け付けします。

■1月25日
不思議な映像実験室「絵がうごいてみえるおもちゃの展示とワークショップ」
11時00分～5時30分
映画やビデオのルーツである“うごいて見えるおもちゃ（視覚玩具）”――プラクシノスコープ、フリップブック、紙シネマ、ライトパノラマなど――の、さわって、見る展示と、3種類のワークショップを行います。ワークショップの内容と時間は以下のとおりです（時間内随時受け付け）。
☆『ソーマトロープ』＝11時30分～12時30分
☆『フィルムに絵を描こう』＝1時30分～2時30分
☆『ぱたぱたアニメ』＝3時30分～4時30分

■2月8・11日　こどもの城映画劇場　「カナダのアニメーション」
11時35分、1時35分、2時35分、3時35分
世界的に高い評価を得ているカナダのアニメーションを上映します。
☆上映作品＝『生きものたちの庭』（10分45秒／Co Hoedeman監督）、『カッコウのエドガーさん』（13分9秒／Dierre M Trudeau監督）

■青山劇場　☎03-3797-5678　http://www.aoyama.org

青山劇場

●フランス・ダンス・03「パラディ（楽園）」
▽12月19日▽S席＝4,000円（当日＝4,500円）、A席＝3,000円（当日＝3,500円）
（問）03-3797-5678

●アニークリスマスコンサート
▽12月20・21日▽S席＝5,000円、A席＝4,800円　（問）03-3498-9999

●DANCE☆NOEL 2003 クリスマスの贈物
▽12月23日▽A席＝4,000円、B席＝3,500円
（問）090-8501-9285

●榛名由梨　芸能生活40周年記念コンサート「夢の軌跡」
▽12月25日▽SS席＝10,000円、S席＝8,000円、A席＝7,500円
（問）03-3974-3165

●サクラ大戦・帝国歌劇団・花組　2004年新春歌謡ショウ
▽平成16年1月2～5日▽SS席＝9,000円、S席＝7,000円、A席＝4,000円
（問）03-5465-1030

●SHOW UP MUSICAL「Doki・Doki・Night」
▽1月15～18日▽S席＝8,500円、A席＝7,000円
（問）03-3201-8116

●安倍なつみ・後藤真希　主演ミュージカル
★安倍なつみ（2月11～15日）
★後藤真希（2月18～22日）
▽一般席・親子席＝9,800円（3歳以下入場不可。6歳以上チケット必要）
（問）03-3796-9999

●（社）日本音楽事業者協会創立40周年記念ミュージカル「スター誕生」
▽3月17日～4月18日▽S席＝10,000円、A席＝8,000円
（問）03-3796-9999

青山円形劇場

●ア・ラ・カルト～役者と音楽家のいるレストラン
▽12月4～26日▽6,000円
（問）03-3797-5678

●第16回こどもの城・キリン・ファミリーオペレッタ「とびこむ絵本Ⅲ～クルクルミチルの青い鳥」
▽平成16年1月2～7日▽2,800円
（問）03-3797-5678

●デーモン小暮の邦楽維新 Collaboration

青山本場所
「花鳥風月」（1月10～12日）
「風林火山」（1月13～15日）
▽4,800円　（問）03-3797-5678

●第二回笑福亭鶴瓶落語会
▽2月7～8日▽3,800円
（問）03-5785-2588

●熊谷和徳
▽2月12日▽3,500円
（問）03-3498-9999

●飛ぶ教室 vol.23　2演目連続ロングラン上演企画
「生態系カズクン」
「カズクン、旅に出る」
▽2月21～22日▽2,800円（学生＝2,300円）　（問）093-873-7460

●ミュージカル・レビュー「ダウンタウン・フォーリーズ　vol.2」
▽3月5～14日▽7,000円（当日＝8,000円）　（問）03-3498-9999